

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【公開番号】特開2015-167714(P2015-167714A)

【公開日】平成27年9月28日(2015.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-060

【出願番号】特願2014-44853(P2014-44853)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月15日(2017.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機において、

遊技に関する演出動画を表示面に表示可能な動画表示手段と、

前記表示面を、第1の表示面から、該第1の表示面と視認態様の異なる第2の表示面へと変化させる表示面変化手段と

を具備していることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

遊技媒体を用いて遊技が行われる遊技機において、

遊技に関する演出動画を表示面に表示可能な動画表示手段と、

前記表示面を、第1の表示面から、該第1の表示面と視認態様の異なる第2の表示面へと変化させる表示面変化手段と

を具備していることを特徴とする。

また、本発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

手段1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、

正面視該遊技領域内の略中央に配置されており該遊技領域内に遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて演出動画を表示可能な動画表示画面と、

該動画表示画面が遊技状態に応じて物理的に変化したように視認させる画面形状変化手段と

を具備している」ものであることを特徴とする。